

NPO法人霧島シニアネット 絆(霧島市)

発表者：津之地 良 氏

皆さん、こんにちは。ご苦労様です。

私は、霧島シニアネット 絆の理事長の津之地と申します。老人クラブと民生委員の会長も兼ねて活動しているわけですが、今日は、特に私たちが皆さんに紹介するまでもなく、かねがね何を考えて活動しているかというようなことを中心に、身近な問題の話をしてみたいと思います。

1 ページにございますように「はじめに」というところ、ちょっとここだけ読んでみます。

少子高齢社会の中で高齢者の社会参加と生きがいづくりや介護予防と健康維持の問題、また認知症などへの対応など、高齢者を取り巻く環境については広範囲にわたって大きな問題があります。このような中で、元気高齢者が社会活動に積極的に参加していくことは地域活性化への貢献とともに、高齢者の皆が住み慣れた地域で尊厳を持って自立した生活を営むための支援につながると思っております。

そのためには、それぞれの地域に根差した種々の団体や住民、行政等が一体となった共生協働の取り組みが重要です。ここが、私は一番大事だと思います。このように、地域をおこしたり、高齢者の面倒を見たりするのは、特定の人が、特定の団体が幾ら頑張ってみてもそんなに効果が上がるものではないと私は思っています。みんながその気になって、みんなができることを一緒にやろうと考えています。

ですので、私たちのこの団体は、そういう皆さんの活動の中に入って、つなぐ役目を果たしていきたいと考えています。つまり、全ての高齢者が住み慣れた地域社会の中で良好な人間関係のもと、可能な限り自立した暮らしを続けることができる社会システムが必要です。私どもはそうした社会システム構築を目指した活動に取り組んでおります。

それでは、私たちのシニアネットの概要をちょっと説明したいと思います。団体名はNPO法人霧島シニアネット 絆です。活動の開始、平成15年から民生委員や老人クラブの会員の方々と一緒になって、見守り活動や地域おこしに取り組んでいます。私は、民生委員の方に、65歳ぐらいになったらみんな老人クラブに加入してくれと、これが民生委員活動の大本だと断言しています。ほとんどが入ってきてくれています。ただ、さっき申しましたよう

